

# 令和4年度推奨技術等の選定について

## 新技術活用システム検討会議が選定する有用な新技術

※件数: 令和4年5月時点

### 推奨技術

2件+今回2件

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的な新技術

### 準推奨技術

8件+今回4件

公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された、画期的だが、更なる発展を期待する部分がある新技術

### 評価促進技術

3件+今回0件

他機関等の実績に基づき、公共工事等に関する技術水準等を高めることが見込める技術(平成26年度より選定)

### 推奨技術の選考要件

- ① 従来に比べ飛躍的な改善効果を発揮
- ② 先駆的な取り組みであり、幅広い活用が期待される
- ③ 技術内容が画期的で、将来飛躍的な効果の改善が期待できる
- ④ 国際的に先端を行く技術、先進諸国への技術展開の期待
- ⑤ 応用性が高く、国際的な課題の解決に資する
- ⑥ 一般化・標準化に向けて活用を促すべき技術

### ● 推薦主体と推薦技術の要件

推薦

推薦

### 評価会議 (地整等)

「有用な新技術」で、かつ「-VE」の技術

### 第三者機関 (技術審査証明 実施機関)

各機関の審査証明取得技術で、平成26年度以降に事後評価された技術(-A以外)

### 研究機関 (国総研、土研等) 学会等

・各機関で事前審査等を行った技術(-A以外)  
・各機関で開発、NETISで活用・評価された技術(-A以外)

### 地方公共団体

各団体に活用・評価された技術(-Aも含む)

### 新技術活用評価会議が選定

### 活用促進技術 202件

- ・総合的に活用の効果が優れている技術
- ・特定の性能または機能が特に優れている技術
- ・特定の地域のみで普及しており、全国的に普及することが有益と判断される技術 等

評価情報 820件

申請情報 2,806件

活用・評価

※複数の「有用な新技術」に選定されている技術があります

### 有用な新技術のインセンティブ

- ① 工事発注時の総合評価方式での加点(当該工事への効果が見込まれるもの)
- ② 工事成績評価での加点(発注者指定型を除く)
- ③ 設計業務の比較検討において対象技術となる(共通仕様書に規定) 等